

# 白川義員 追悼写真展 天地創造

## Shirakawa Yoshikazu Memorial Photography Exhibition The Earth

2023 1月14日(土) - 3月12日(日) [令和5年] 開館時間=9:40~18:00(入場は17:30まで)  
休館日=月曜日 ※ただし、2/6(月)、3/6(月)は開館し、2/7(火)、3/7(火)は休館。

主催=追悼 白川義員写真展「天地創造」実行委員会(愛媛県、愛媛新聞社、愛媛朝日テレビ) 企画協力=東京都写真美術館 協力=凸版印刷、小学館 協賛=伊予銀行、大一ガス、大王製紙、鹿島建設、梅錦山川 後援=愛媛県教育委員会、四国中央市、四国中央市教育委員会、松山市、松山市教育委員会、愛媛県市町教育委員会連合会、(公財)愛媛県文化振興財団、愛媛写真家協会、愛媛県美術会、愛媛美術教育連盟、愛媛県文化協会、NHK松山放送局、南海放送、テレビ愛媛、あいテレビ、愛媛CATV、四国中央テレビ、愛媛県CATV協議会、FM愛媛

お問い合わせ=追悼 白川義員写真展「天地創造」実行委員会事務局  
(愛媛新聞社企画事業部内) TEL.089-935-2322(平日9:00~17:00)

THE MUSEUM OF ART EHIME であう つながる ひろがる—アートの宝石箱—  
愛媛県美術館  
〒790-0007 愛媛県松山市堀之内 TEL.089-932-0010 <https://www.ehime-art.jp/>

《ザ・ウェーブ、アメリカ》個人蔵



# 追悼|白川義員写真展天地創造

愛媛県四国中央市出身の写真家・白川義員(1935-2022)は、世界各地の荘厳な大自然を被写体とし、長年発表を続けました。「アルプス」「ヒマラヤ」「アメリカ大陸」「聖書の世界」「中国大陸」「神々の原風景」「仏教伝来」「南極大陸」「世界百名山」「世界百名瀑」「永遠の日本」に続く、全12シリーズの集大成であり、また最期のシリーズとなったのが今回展示する「天地創造」です。近年注目されるアメリカの景勝地「ザ・ウェーブ」やボリビアのウユニ塩湖他最晩年の作品も含め、およそ50年にわたり撮影した作品の中から作家本人が選んだ196点を紹介します。

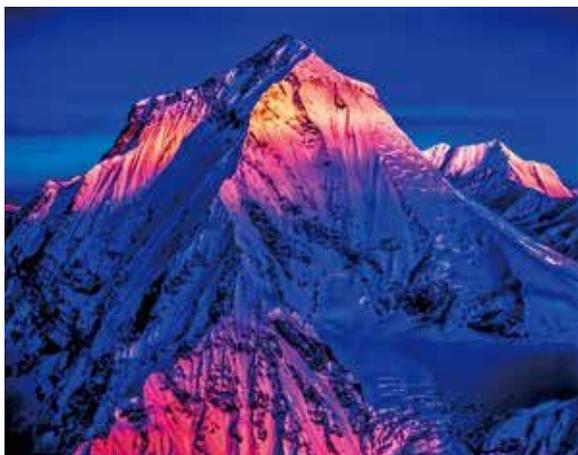
白川義員(しらかわ よしかず) 1935年愛媛県四国中央市生まれ。57年、日本大学芸術学部写真学科卒業、ニッポン放送に入社、文芸部プロデューサーとして勤務。59年にフジテレビに移籍、62年同社を一時退職し、中日新聞の特派員として8ヶ月間世界一周の写真取材を行う。同社退社後、フリーランスの写真家として活動を始める。精力的に世界中を取材し、写真集「ヒマラヤ」(小学館、71年)により、72年、第13回毎日芸術賞、第22回芸術選奨文部大臣賞を受賞。79年から80年にかけての「聖書の世界」三部作(小学館)により、81年全米写真家協会最高写真家賞を日本人として初めて受賞した。88年、第36回菊池寛賞、95年、第27回日本芸術大賞を受賞。93年、83日間をかけて人類史上初の南極大陸一周に成功する。97年以降は世界の山岳関係者が選定した「世界百名山」プロジェクトに着手、世界の名峰127座をカメラに収める。99年、紫綬褒章を授章、2014年、第62回愛媛新聞賞を受賞した。20年、シリーズ12作目で集大成となる「天地創造」(小学館)を発行。生涯にわたり「地球再発見による人間性の回復へ」をテーマに地球の荘厳な姿を撮り続けた。22年に逝去。



撮影：藤澤卓也



《イグアス、ポゼッチ滝、アルゼンチン》



《ダウラギリ峰、ネパール》



《漓江、黄布灘、中国》



《能取湖、サンゴソウ、日本》



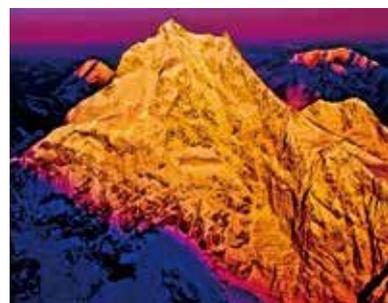
《桜島夜明けの噴火、日本》



《南極のオーロラ》



《ウユニ塩湖の星、ボリビア》



《マナスル東壁、ネパール》

## 関連プログラム

### ●追悼記念トークセッション「白川義員がとらえたもの」

白川義員の作品や生涯について、白川氏本人と交流の深かった両氏をゲストに迎えて語ります。

日時:1月14日(土) 14:00~15:30

ゲスト:関次和子(せきじ・かずこ)氏(学芸員・東京都写真美術館事業企画課長)

村上仁一(むらかみ・まさかず)氏(合同会社PCT/雑誌「写真」編集長)

進行:杉山はるか(当館専門学芸員) 場所:本館1階講堂(定員60名) ※無料 要申込

### ●フロアレクチャー

日時:2月4日(土)、3月4日(土) 各日14:00~(約1時間) 講師:杉山はるか(当館専門学芸員)

場所:本館1階企画展示室内 定員:各10名 ※要観覧券 申込不要

### ●「カメラ・オブスクラ公開制作」人が入れるカメラ・オブスクラ(カメラの原理を用いた装置)を作ります。その後会期中は館内に設置します。

日時:2月18日(土) 14:00~16:00 講師:金成めい(当館学芸員)

場所:本館2階展望ロビー ※無料 申込不要(周りの方との間隔をあけてご鑑賞ください。)

### ●「フィルム紙焼き入門」

モノクロネガの紙焼きをします。工夫した像を作りましょう。(ネガはこちらで用意します。)

日時:3月5日(日) 14:00~17:00 講師:金成めい(当館学芸員)

場所:南館アトリエ2 材料費:300円 対象:高校生以上 定員:6名 ※要申込

### ●対話型鑑賞プログラム 1点の作品をじっくりみて話し合います。

日時:2月26日(日)、3月12日(日) 各日11:00~(30分程度)

ナビゲーター:当館作品ガイドボランティア

場所:本館2階研修室(定員20名) ※無料 申込不要

### ●鑑賞サポート 視覚障がいの方を総合案内から手引きして鑑賞のサポートをいたします。 ※要申込。(日時は相談の上決定します。)

●講座申し込み方法=電話(089-932-0010)、FAX(089-932-0511)、HPのお問い合わせフォームよりお申込みください。

観覧料	一般	高大生	小中生
当日券	1,300円	800円	500円
前売券	1,100円	600円	400円

※前売券の販売は2023年1月13日(金)まで。

※団体(20人以上)は前売料金。※満65歳以上の方は当日1,200円(年齢がわかるものをご提示ください)。※障がい者手帳等をお持ちの方とその介護者1名は無料です。※マチカカードとマチカアプリをご利用いただけます。※本券でコレクション展をご観覧いただけます。

【前売り券販売場所】愛媛県美術館、愛媛朝日テレビ、愛媛新聞旅行、愛媛CATV、いよつ高島屋、フジグラン愛媛県内各店(エミフルMASAKI、川之江、新居浜、西条、今治、松山、重信、大洲、北浜、北宇和島)、コープえひめ生活文化サービス、明屋書店県内各店(一部店舗除く)、ローソンチケット(Lコード62412)、チケットぴあ(Pコード686-260)、セブンチケット(<http://7ticket.jp>)、e+(イープラス)ほか取り寄せ:愛媛新聞社県内支社(東予支社四国中央除く)、愛媛新聞エリアサービス、四国中央テレビ

新型コロナウイルス感染症の予防・拡大防止のため、イベント等の中止・変更や、やむを得ず展示室内の入場制限を行う場合がありますのでご了承ください。

【交通案内】※駐車場は、県庁西駐車場(2時間無料)をご利用できますが、駐車台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関等のご利用をお願いします。◎JR松山駅より道後温泉または松山市駅前行き市内電車で7分。「南堀端(愛媛県美術館前)」下車、徒歩1分。◎松山観光港よりリムジンバスで26分。「松山市駅」下車、徒歩5分。◎松山空港よりリムジンバスで24分。「松山市駅」下車、徒歩5分。◎松山インターチェンジより車で20分。



THE MUSEUM OF ART OF ARI EHIME 愛媛県美術館

〒790-0007 愛媛県松山市堀之内

TEL.089-932-0010

<https://www.ehime-art.jp/>

※作品は全て個人蔵